

「ひとり暮らしの若者」へのアドバイス ・・・情報カードの作成・・・

背景

モノと情報に溢れた現代社会の中で、家電製品をはじめとした便利な商品の出現や、核家族・単身世帯の増加により、世代間の生活知識・知恵が受け継がれなくなっていると言われてしています。

現状、企業が「常識」と考えていることでも、生活者が知らないことが多数存在し、特に「ひとり暮らしを始めた若者」は知識不足により重大事故を引き起こすリスクが高いと考えました。

目的

- 生活者と企業との間で生じているギャップを明らかにする。
- その解決にむけ、生活者に対し「伝えるべき情報」を形にする。

作成過程

第1ステップ

「生活者視点」「企業視点」での
ギャップの発見

- 生活者が普段疑問に思うこと、企業として知ってほしいと思うこと、を抽出

第2ステップ

情報発信ターゲットの選定

- どんな人々にどんな情報が
必要かをディスカッション
- 事例の収集

第3ステップ

コンテンツの作成

- 情報カードの形にして作成

ひとり暮らしの若者への「情報カード」の発信

カテゴリー

1. 食生活情報 冷凍食品昇華現象/パンの美味しい保存方法/ アレルギー表示など
2. 食生活情報 賞味期限と消費期限/カレールウの保存方法など
3. 住生活情報 電球の選び方/コンセントタップ使用時注意点/家の汚れの落とし方
4. 暮らし情報 薬の使用期限/セルフガソリンスタンド給油方法など